

EW
Emergency Watch

エマージェンシー ウォッチ
Emergency Watch

No9



発行：神戸大学大学院医学研究科小児科 こども急性疾患学部門

神戸こども初期急病センター



2011年 8月受診者数：2028人

訴え

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

- 1. 発熱 : 1248人 (1009人)
- 2. 咳 : 637人 (177人)
- 3. 鼻汁 : 349人 (9人)
- 4. 嘔吐 : 326人 (96人)
- 5. 発疹 : 266人 (208人)

疾患頻度

- 1. 急性上気道炎・咽頭炎: 750人
- 2. 感染性胃腸炎 : 242人
- 3. 気管支炎・肺炎 : 191人
- 4. 気管支喘息 : 157人
- 5. じんま疹 : 80人



今月のワンポイント！

台風一過、朝夕は大分と涼しく過ごし安くなりましたが、まだ日中は日差しもきつく暑いですね。夏休みも終わり、そろそろ運動会の季節になりました。運動会の練習で体調を崩して風邪をひいてしまわないよう、手洗い、うがいを徹底し、栄養と睡眠を取りましょう。

さて8月の受診者数は2028人でした。6、7月に比べやや減少しています。手足口病の患者さんが減少しているようです。一方、最近マイコプラズマ肺炎の低年齢化（小さいお子さんにも発症する）が目立ち、頻度も増加しています。熱や咳が1週間くらい続き、肺炎になってしまうことがあるので本人もご家族も大変です。有効な抗生物質はあるのですが、耐性菌といって薬の効きにくい菌も増えているようです。時には喘息に準じた治療を要し、入院しなければならないほどの症状が出ることもあります。夜の咳が続くときは、翌日の日中に小児科を受診し胸の音をきいてもらうようにしましょう。



また、食中毒も話題になっています。お子さんは腸の免疫が未熟ですから、肉やお魚はしっかり加熱するようにしましょう。また生ものを処理したまな板や包丁はしっかり洗い、食中毒を未然に防ぐようご家庭でも十分に気をつけましょう。

